

西建協だより

346号

2023年5月



HPアドレス

「西建協だより」では、管内の様々な行政機関の方々から機会あるごとに寄稿をいただいております。このたび、四月より西多摩建設事務所長にご着任されました水谷正史様より寄稿頂きましたので掲載を致します。

着任のご挨拶

東京都西多摩建設事務所

所長 水谷 正史

四月一日付けで東京都西多摩建設事務所長に着任いたしました水谷と申します。(一社)西多摩建設業協会並びに会員企業の皆様には、常日頃から当事務所の事業推進にご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

当事務所は、大正十年(一九二一年)に発足した東京府青梅土木出張所が源流となっており、今年で百三年目を迎えることができました。これもひとえに関係者の皆様のご協力の賜物でございますので、重ねて御礼申し上げます。

さて、当事務所は、東京二十三区の面積に匹敵する広大な区域を管轄しており、その七割が山岳地で占められ、土砂災害や雪害などの自然災害への備えは大きな課題であります。また、市街化が進む東部の平坦地域においては、安全で円滑な道路ネットワークの形成を目的として、都市計画に基づく基盤整備が急がれています。

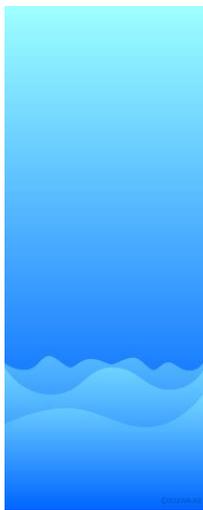
そのため、山間部では、災害時等の代替路となるダブルルート化を図るため、現在、工事実施中の梅ヶ谷トンネルの一日も早い開通に向けて着実に進捗を図るとともに、多摩川南岸道路(丹三郎)、秋川南岸道路(下元郷)の事業を進めてまいります。また、斜面崩壊防止、急傾斜地崩壊防止、砂防事業などの土砂災害対策を着実に実施してまいります。市街地では、渋滞の緩和

や安全性の向上のため、千ヶ瀬バイパスの延伸、志茂及び箱根ヶ崎における道路と鉄道との立体交差化事業、吉野街道や秋川街道等における歩道設置事業を進めてまいります。維持管理の面では、老朽化した橋梁やトンネルについて計画的に長寿命化工事を実施するとともに、山岳道路において、日常点検等で斜面の状況を的確に把握し、計画的な道路災害防除工事を実施し、奥多摩周遊道路を含む道路の安全性向上を図ってまいります。

一方、降雪時における道路交通の安全を確保するため、貴協会の会員企業の皆様に除雪協力をお願いしております。平成二十六年二月の大雪では、山間部の多いところで一mを超える記録的な積雪となり、国道四一一号を含む都道十二路線が通行止めになりましたが、会員企業の皆様には昼夜を問わず除雪作業を実施していただきました。改めて感謝申し上げます。

令和六年四月一日以降、建設業においても時間外労働の上限規制が適用となり、発注者、受注者ともDXなどを推進し、働き方を大きく変えていく必要がございます。貴協会の皆様とは、引き続き、様々な機会を通じて意見交換などを行い、連携を強化させていただきたく存じます。

西多摩地域の安全性向上と発展に向け、尽力してまいりますので、引き続き、ご理解、ご協力を賜りますとともに、西多摩地域の未来のためにお力添えをいただきますよう、よろしくお願いいたします。



優良工事表彰の受賞にあたり

株式会社 島田組

現場代理人 小林 一貴

今回、令和2年度に行った佐戸林地荒廃復旧工事において東京都産業労働局・農林水産部長表彰という大変名誉ある賞を頂きました事を光栄に思っております。

本工事は、東京都森林事務所発注の工事であり、令和2年3月27日から令和3年7月27日までで主要工種は、法切工・簡易吹付法砕工・鋼製砕工・谷止工など荒廃復旧の現場でした。施工箇所は、台風19号の影響による災害で山が崩壊し、倒木や土砂が流出しており自然の強大な力を思い知らされる現場となっております。1日も早い現場復旧を目指して地元の方々を安心していただける様にと工事着手しました。

施工に先立ち現場調査した結果、現場内への進入路も狭く土砂の影響が想像以上に酷く含水比が高い為、重機も進入する事が出来ず仮設道路が完了しないと他の工種にも影響するため仮設道路の確保が課題となりました。トラフィカビリティ改善の為、土砂を採取して土質試験を行い石灰安定処理工法について協議して工法を変更することにしましたが無事に仮設道路の工事完了する事ができ法切工を開始しました。法切工は、人力施工とならぬのが崩落後の法面が不安定な為、高所掘削機での施工に承諾変更し安全に法切工が完了しました。残りの工種に関しても材料の搬入・運搬などで苦労がりましたが安全に完成する事ができました。

最後に、今回の受賞に際しまして、発注者・協力業者・関係者の皆様の多大なお力添えをして頂き有難う御座いました。



法面作業の様子



現場復旧後の様子

街づくりの担い手発掘プロジェクト

多摩地区の街づくりを担う

合同企業説明会 開催報告

広報委員会

去る4月27日、三多摩建設業連合会の『建設系合同企業説明会』が日本工学院八王子専門学校にて開催され、西多摩建設業協会からは4社が参加しました。

昨年までのコロナ禍とは違い、アクリル板を通しての会話でなくなったため、マスクは着用していたものの、それ以外は通常に戻りつつある中での開催となりました。

また、従来の会場として使用していた、学生食堂から本年度は、最新の建築実習施設のアーキテクトビルダースタジオ内へ変わり、以前とは異なり、各社ブースにて電源使用等の自由度が高まりプロジェクト等を使用して説明会に臨んでいる会社が数多く見受けられました。

各会社とも若手社員の方が企業説明や質疑応答を担当するなどとてもフレッシュな説明会に感じました。その代わり、若手社員は説明を聞く立場から説明をする立場へと立場の変化に難しさを感じながら臨んでいたように垣間見れました。

多くの企業が人手不足で悩んでいる中、このような説明会が開催されるのは業者にとっても大変心強いものとなっております。一人でも多く、各企業様とマッチングすることをお祈りしております。



各企業ブースの様子

～改正電子帳簿保存法の施行について～

2022年1月1日より、改正電子帳簿保存法が施行され、国税関係の帳簿・書類のデータ保存について、抜本的な見直しが行われました。2023年12月末までに行われた電子取引については、従来どおりプリントアウトして保存しておくことが認められますが、協会の皆様も電子取引のご対応をお願い致します。

(以下、国税庁ホームページより引用)

電子帳簿保存法(以下、電帳法)とは

電帳法の主な保存区分は、①電子帳簿等保存、②スキャナ保存、③電子取引データ保存の3種類に分けられます。

①電子帳簿等保存は、「電子的に作成した帳簿・書類をデータのまま保存」することです。具体的にいうと、自分が会計ソフト等で作成した帳簿や決算関係書類などを「電子データのまままで保存する」ことを指します。

②スキャナ保存は、「紙で受領・作成した書類を画像データで保存」することです。具体的にいうと、相手から受け取った請求書や領収書などを、スキャニングして保存することです。

③電子取引データ保存は、「電子的に授受した取引情報をデータで保存」することです。具体的には、領収書や請求書といったように、紙でやりとりしていた場合にはその紙を保存しなければならない内容をデータでやりとりした場合には「電子取引」に該当し、そのデータを保存しなければならないというものです。

下記の国税庁ホームページより詳細の説明パンフレットがダウンロードできますのでご利用ください。

URL:

<https://www.nta.go.jp/law/joho-zeikaishaku/sonota/jirei/pdf/023003-082.pdf>

QRコード



～西多摩建設業協会 第3回 通常総会 開催～

去る5月16日、あきる野市、あきる野ルピアにて令和5年度西多摩建設業協会第3回通常総会が開催されました。

総会開催にあたり、ご来賓として西多摩建設事務所長水谷正史様、森林事務所長龍野功様をはじめ、西多摩地区各市町村より首長の皆様をお招きしました。

総会は、各議案承認可決となり榎森厚志理事長以下、下記役員体制となります。また、本年度より衆議院議員、井上信治様、東京都議会議員、田村利光様の当協会顧問就任も発表いたしました。

◇令和5・6年度役員◇

理事長	榎森 厚志 (株)榎木工業	副理事長	岩浪 岳史 岩浪建設(株)
			上坂 健一 (株)上坂重機開発

理事

戸高 弘喜 (株)戸高建設	武田 雅由 (株)武田組
高丘 長武 (株)高丘組	宮崎一二三 (有)宮崎土木
大館 貴之 (株)大館建設工業	馬場 英明 (株)馬場組
井戸 功誠 (株)井戸鉄建	石川 友丈 (事務局長)

監事

熊谷 拓治 (株)熊谷建設	岡野 恵之 (株)岡野組
照井 千富 (株)東日本建設業保証	新宿支店長

顧問

井上 信治 衆議院議員
田村 利光 東京都議会議員
細沼 順人 成友興業(株)



総会の様子



総会懇親会の様子

◇あ と が き◇

新型コロナウイルスも5月8日より5類感染症に移行し、今年のGWは皆様コロナ前とほぼ変わらないお休みを過ごせたのではないのでしょうか。

4年ぶりに開催された青梅大祭には約20万人の方々が他方から来られたようで、大変にぎやかなお祭りとなりました。山車が競り合う際は、人ごみの中を歩けないほどの混雑となり、圧巻のパフォーマンスでした。

梅雨時期も迫り、雨の多い日が増えてきますが、今年も熱中症対策を万全にじめじめした季節を乗り切りましょう!

広報委員会

4 月 事 業 報 告

- 14日 事業委員会
- 14日 広報委員会 345号編集
- 17日 総務委員会
- 18日 理事会
- 20日 災害対策安全委員会
- 27日 三建連 合同企業説明会(日本工学院八王子専門学校)

5 月 事 業 計 画

- 12日 広報委員会 346号編集
- 15日 総務委員会
- 16日 西多摩建設業協会 第3回通常総会
- 23日 西多摩建設業協同組合 第57回通常総会

日建学院 青梅認定校

合格のための受験対策講座

2023年度 開講講座のご案内

1級土木 施工管理技士

一次 3月中旬～ 毎週火・木(夜間) ¥280,000(税込¥308,000)

二次 7月中旬～ 毎週月・水(夜間) ¥110,000(税込¥121,000)

1級建築 施工管理技士

一次 2月中旬～ 毎週火・木(夜間) ¥280,000(税込¥308,000)

2級土木 施工管理技士

前期一次 3月中旬～ 毎週月・水(夜間) ¥190,000(税込¥209,000)

後期一次・二次 6月中旬～ 毎週月・水(夜間) ¥250,000(税込¥275,000)

2級建築 施工管理技士

前期一次 3月中旬～ 毎週月・水(夜間) ¥140,000(税込¥154,000)

後期一次・二次 8月中旬～ 毎週月・水(夜間) ¥200,000(税込¥220,000)

給水装置 工事主任技術者

8月上旬開講 毎週火・木(夜間) ¥220,000(税込¥242,000)

宅地建物 取引士

4月中旬開講 毎週水(昼間) ¥280,000(税込¥308,000)

2023年も受験対策は **日建学院** に **おまかせください!**

詳細は随時ご説明いたします。お気軽にお問い合わせください。

青梅認定校(西建協) 0428-22-6245 石川
日建学院 立川校 090-4171-6169 高橋かおり